



2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2020年2月13日

上場会社名 オリエンタルチエン工業株式会社
 コード番号 6380 URL <https://www.ocm.co.jp>
 代表者 (役職名) 取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部マネージャー
 四半期報告書提出予定日 2020年2月14日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 (氏名) 西村 武
 (氏名) 金谷 武志
 TEL 076-276-1155

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	2,428	△12.1	△15	—	△15	—	△10	—
2019年3月期第3四半期	2,764	8.8	101	39.4	104	54.3	67	65.9

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	△7.02	—
2019年3月期第3四半期	46.35	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第3四半期	3,928	1,451	37.0	993.19
2019年3月期	3,771	1,469	39.0	1,005.10

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 1,451百万円 2019年3月期 1,469百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2020年3月期	—	0.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,237	△9.6	3	△97.2	1	△98.8	7	△91.0	4.94

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

業績予想の修正につきましては、本日(2020年2月13日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期3Q	1,467,233 株	2019年3月期	1,467,233 株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	5,600 株	2019年3月期	5,594 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期3Q	1,461,638 株	2019年3月期3Q	1,461,738 株

(注)当社は2018年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前事業年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
第3四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
(セグメント情報等)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、緩やかな回復基調で推移したとみられますが、米中貿易摩擦の影響や日韓関係、中東情勢等に起因する不確実性の拡大により、国内景気の先行きに対する見方は慎重になっており、生産活動においては減速してきたとみられます。また、海外においても、米国政権の保護貿易的な政策の長期化や中東アジア地域における地政学リスクの高まり等海外情勢の不安定さもあり、先行きは依然として不透明な状況が見込まれます。

このような状況下において当社は、市場の多様なニーズへの対応力を高め、受注拡大に向けての製品の差別化や、コスト削減、工場の生産性を高める取り組みを継続・強化してまいりました。新商品の市場への浸透を進めておりますが、当社を取巻く市場の減速は大きく売上は大きく落ち込みました。

この結果、当第3四半期累計期間の業績は、売上高は2,428百万円（前年同四半期比12.1%減）となり、減収による影響で、営業損失15百万円（前年同四半期は営業利益101百万円）、経常損失15百万円（前年同四半期は経常利益104百万円）、四半期純損失10百万円（前年同四半期は四半期純利益67百万円）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

①チェーン事業

国内では、前期好調であった搬送機械業界向けの落込みが大きく、工作機械業界、食品機械業界等主要業界向けが減少しました。一方、輸出においても、北米、アジア、欧州向けが減少しました。これらの結果、売上高は2,266百万円（前年同四半期比13.1%減）、営業利益は93百万円（前年同四半期比56.8%減）となりました。

②金属射出成形事業

医療機器分野を中心に受注拡大を図る営業活動を継続してまいりましたが、取引先の中国向け生産が減少し量産品の売上が減少しました。その結果、売上高は139百万円（前年同四半期比10.5%減）、営業利益は17百万円（前年同四半期比50.1%減）となりました。

③その他事業

その他事業につきましては、リニューアルした賃貸ビルの貸与を7月から開始し、売上高は23百万円（前年同四半期は売上なし）、営業利益は7百万円（前年同四半期は営業損失7百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期会計期間末における総資産は、3,928百万円で、前期末に比べて157百万円増加しました。これは、前期末と比べ、減収による売上債権の減少等を主要因として、流動資産が2,363百万円と33百万円減少したこと（受取手形が101百万円、売掛金が46百万円減少、現金及び預金が66百万円、棚卸資産が35百万円増加）、また、工場の屋根改修や老朽化した設備の更新により固定資産が1,565百万円と190百万円増加したこと（建物が98百万円、機械装置が133百万円増加）によるものです。

(負債)

当第3四半期会計期間末における負債合計は、2,477百万円で、前期末に比べて174百万円増加しました。これは、前期末と比べ、仕入商品減少等により仕入債務の減少、設備の未払等の増加を主要因として、流動負債が1,580百万円と22百万円減少したこと（支払手形が63百万円、買掛金が24百万円減少、その他の流動負債に含まれる設備未払金45百万円、設備支払手形が12百万円増加）、また、運転・設備資金として長期借入350百万円の実施、賃貸ビルの入居テナントが決まり保証金を得たことで、固定負債が896百万円と197百万円増加（長期借入金157百万円、その他の固定負債に含まれる長期預り保証金が22百万円増加）したことによるものです。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産は、1,451百万円で、前期末と比べ17百万円減少しました。主な要因は、四半期純損失の計上10百万円、その他有価証券評価差額金の減少7百万円によるものです。

この結果、自己資本比率は前期末の39.0%から当第3四半期会計期間末は37.0%になりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の業績予想につきましては、2019年11月8日に公表いたしました業績予想を変更しております。詳細につきましては、本日（2020年2月13日）公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	351,930	418,558
受取手形	728,104	626,836
売掛金	460,102	413,434
商品及び製品	194,021	221,381
仕掛品	370,482	380,829
原材料及び貯蔵品	257,353	254,907
その他	35,173	47,590
貸倒引当金	△260	△230
流動資産合計	2,396,907	2,363,309
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	298,581	397,189
機械及び装置（純額）	350,623	483,820
土地	246,442	246,442
建設仮勘定	61,968	33,173
その他（純額）	39,801	39,226
有形固定資産合計	997,417	1,199,851
無形固定資産	23,481	19,595
投資その他の資産		
投資有価証券	111,558	102,123
その他	242,193	243,934
投資その他の資産合計	353,752	346,058
固定資産合計	1,374,651	1,565,506
資産合計	3,771,559	3,928,815

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形	508,443	445,103
買掛金	193,507	168,965
短期借入金	660,945	700,863
未払法人税等	35,639	4,476
賞与引当金	43,616	9,997
その他	161,391	251,417
流動負債合計	1,603,544	1,580,824
固定負債		
長期借入金	352,103	509,949
退職給付引当金	316,747	335,824
役員退職慰労引当金	30,068	27,890
その他	—	22,636
固定負債合計	698,919	896,300
負債合計	2,302,464	2,477,125
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,066,950	1,066,950
資本剰余金	168,230	168,230
利益剰余金	252,797	242,532
自己株式	△5,942	△5,946
株主資本合計	1,482,035	1,471,766
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△12,939	△20,076
評価・換算差額等合計	△12,939	△20,076
純資産合計	1,469,095	1,451,689
負債純資産合計	3,771,559	3,928,815

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	2,764,004	2,428,654
売上原価	2,278,695	2,077,970
売上総利益	485,309	350,684
販売費及び一般管理費	383,388	365,748
営業利益又は営業損失(△)	101,921	△15,064
営業外収益		
受取利息	65	51
受取配当金	3,166	3,304
保険解約返戻金	4,244	4,279
為替差益	5,862	1,714
その他	3,594	3,078
営業外収益合計	16,933	12,429
営業外費用		
支払利息	8,271	7,773
売上割引	4,826	4,054
その他	789	1,487
営業外費用合計	13,887	13,315
経常利益又は経常損失(△)	104,967	△15,949
特別利益		
固定資産売却益	419	1,894
投資有価証券売却益	—	8,010
特別利益合計	419	9,904
特別損失		
固定資産廃棄損	1,938	231
特別損失合計	1,938	231
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	103,448	△6,276
法人税、住民税及び事業税	28,956	5,016
法人税等調整額	6,734	△1,027
法人税等合計	35,691	3,988
四半期純利益又は四半期純損失(△)	67,757	△10,264

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間(自2018年4月1日至2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期損益計 算書計上額 (注) 3
	チェーン 事業	金属射出 成形事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	2,608,745	155,258	2,764,004	—	2,764,004	—	2,764,004
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	2,608,745	155,258	2,764,004	—	2,764,004	—	2,764,004
セグメント利益又は損失 (△)	216,479	35,281	251,760	△7,402	244,358	△142,437	101,921

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業等であります。
 2. セグメント利益又は損失の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
 3. セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期損益計 算書計上額 (注) 3
	チェーン 事業	金属射出 成形事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	2,266,525	139,000	2,405,526	23,128	2,428,654	—	2,428,654
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	2,266,525	139,000	2,405,526	23,128	2,428,654	—	2,428,654
セグメント利益又は損失 (△)	93,608	17,618	111,227	7,531	118,758	△133,822	△15,064

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業等であります。
 2. セグメント利益又は損失の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
 3. セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業損失と調整を行っております。